

福島イノベーション・コースト構想 重点分野等事業化促進事業(伴走支援)について

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構

産業集積部 産業連携支援課

TEL:024-581-6890

E-mail:sangyo-renkei@fipo.or.jp

◆福島イノベ機構とは

- 福島県が2017年に設立
- 福島イノベーション・コースト構想の中核的な推進組織という位置づけ
- 構想の実現に向け、幅広い分野をカバー
 - ① 産業集積・ビジネスマッチング
 - ② 教育・人材育成
 - ③ 交流人口の拡大
 - ④ 拠点施設(RTF等)の管理運営
 - ⑤ 情報発信(Hama Tech Channel等)



福島ロボットテストフィールド



東日本大震災・原子力災害伝承館

◆福島イノベ機構と地域復興実用化開発促進事業（イノベ補助金）の関係

地域復興実用化開発等
促進事業費補助金
(イノベ実用化補助金)

事業化のお手伝い

事業化に向けた支援



(1) 概 要

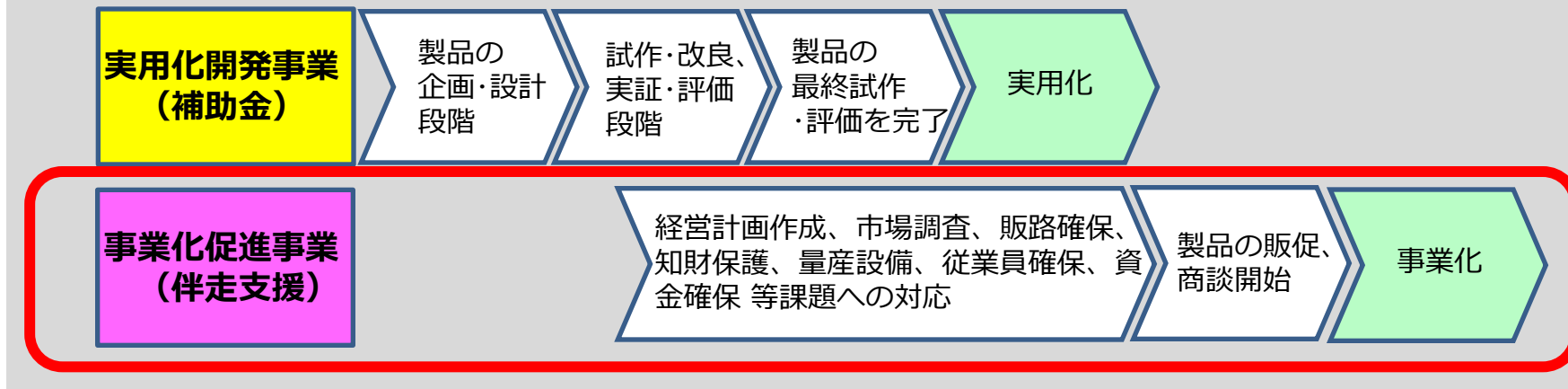
イノベ実用化補助金の採択を受けて実用化に取り組む企業等（過去に採択を受けた企業等を含む）が、**事業化（開発製品・商品の販売）に向けた**各種課題の解決に関する支援を実施し、早期の達成を目指します。

(2) 福島県の「イノベ実用化補助金（補助金）」とイノベ機構の「イノベ事業化促進事業（伴走支援）」の違い

「イノベ実用化補助金」では、各企業等に製品開発、部品や要素技術の研究開発を行ってもらい、製品の試作・評価完了した段階＝『実用化』させることが主な目標。

「イノベ事業化促進事業」では、『実用化』後の実際の販売活動等展開を行う段階（商談開始）＝『事業化』に移行してもらうことを主な目標として、支援するところです。

◆参考（イメージ）



市場調査

- ・市場規模調査
- ・自社製品の特性分析
- ・競合他社製品調査
- ・知財戦略支援 等



事業計画等の作成支援

- ・収支計画
- ・販売戦略
- ・投資計画
- ・ビジネスモデル 等



地域復興実用化 開発に取り組む 事業者様を支援

イノベ機構が、事業者様の課題を整理のうえ、各種支援を実施します。

個別マッチング

- ・部材調達先の紹介
- ・金融機関の紹介
- ・技術提携先の紹介 等



一括支援

- ・支援制度説明会の開催
- ・首都圏でのピッチイベント開催 等



今年度の支援メニューの概要は以下となります。

事業化促進支援

事業連携先：合同会社デロイトトーマツ

支援先企業の全般的な課題把握、経営戦略や市場戦略の策定支援や戦略の実行支援など

財務戦略支援

事業連携先：とうほう地域総合研究所

資金調達に係る金融機関／VCとの引き合わせや、その前後での助言など

マッチング支援

事業連携先：オーツーパートナーズ

企業やバイヤーを招致し、商談のフォローアップを支援

知財戦略支援

事業連携先：デロイトトーマツ弁理士法人

知財戦略に関する助言、先行技術調査や特許性調査、特許出願など

専門家による伴走支援

事業連携先：オーツーパートナーズ、IBLC

部門別の専門家チームの派遣、製造業に特化した専門家によるプッシュ型の伴走支援

ネットワーキング支援

- ・自治体等との引き合わせ
- ・部材調達支援

マーケティング／プロモーション支援

- ・デプスインタビュー
- ・プレスリリース支援
- ・合同メディア発表会
- ・展示会出展支援（ブースの提供）

人材確保支援

- ・関係機関（移住相談窓口等）への紹介

その他支援

- ・各種補助金情報等の提供（メルマガ）

■ 事業化促進支援

- コンサルティングファームと連携しながら、「イノベ実用化補助金」に採択されたテーマを対象に、訪問・オンライン等でヒアリングを行い、各事業者が抱えている課題解決のための支援を実施。

➢ 市場調査、技術面での課題解決や販路開拓に向けたマッチング、販売戦略の策定、資金調達に向けたアドバイスなど、課題に応じて、具体的な支援を実施。

訪問等 延べ129回
(2025年度)

事業化に至った事例 20件
(累計149件) (2025年度末)



■ 知財戦略支援

- 事業化支援により、知財課題等を把握した19社(2025年度)を対象に、INPIT/弁理士による専門的支援を実施。

- ＜主な支援内容＞
- ✓ 現状分析レポートの作成
 - ✓ 先行技術調査、先行文献調査、特許性調査
 - ✓ 特許出願（代理人業務）
 - ✓ 商標調査
 - ✓ 商標出願（代理人業務）
 - ✓ 意匠出願（代理人業務）

区分	出願		査定	
	R7	累計	R7	累計
特許	13件	59件	7件	29件
商標	4件	32件	9件	28件
意匠	0件	1件	0件	1件

■ マッチング支援/マーケティング支援

- 実用化が完了し事業化（＝商談を開始）したものの、新たな販売先の開拓につながらない課題へ対応するため、販売実績向上に向けた支援を実施。

- ＜支援メニュー＞
- 首都圏商談会出展への支援
 - 大企業等の顧客候補のマッチング
 - 有識者インタビューの実施
 - プレスリリース支援



■ 機構主催によるピッチイベントの開催（2025年度）

- 大企業との協業・連携、金融機関・VC・CVCからの資金調達に向けたマッチング、ネットワーキングを促進することを目的として、都内で初めて機構が主催するピッチイベントを開催。

Fukushima Innovation Coast – Deep Tech Challenge – ～マイナスからの“挑戦”、だからこそ“本気”～

開催概要

- (1)日 時 2025年9月25日(木) 16:00～20:00
- (2)場 所 Tokyo Innovation Base（東京都有楽町）
- (3)参加者 **84名**（協業・連携を検討する大企業、VC、CVCなど）

登壇企業（県内拠点所在地）

- 株式会社Mecara（田村市）
- トラスト企画株式会社（いわき市）
- 株式会社ElevationSpace（南相馬市）
- 合同会社良品店（富岡町）
- 株式会社ハマ（南相馬市）
- ミツフジ株式会社（川俣町）



■ 地元企業とのマッチング機会の創出

- 浜通り地域を含む、県内全域への経済効果の更なる波及に向けて、地元企業と実用化補助金採択企業等とのマッチング支援を実施。
- 2024～2025年度の累計で、121社の企業を訪問し、30件の引き合わせを行い、12件の取引成立をイノベ機構の仲介により実現。
- 研究開発後の量産に向けて、製造委託先（候補）の紹介なども実施。

＜ビジネスマッチングの事例（2025年度）＞

進出企業	地元企業	目的・内容
電気設備設計・製造企業	運送会社	輸送事業の委託 <成約>
宇宙輸送関連開発企業	回路設計製造企業	回路基板の設計・製造の委託 <成約>
高機能ガラス製造企業	電気工事企業他2社	治具の製作、電気工事事業者の相談 <成約>
IoTセンサー開発企業	金融機関	資金調達の相談 <成約>
健康モニタリング機器開発企業	印刷会社	カタログの刷新、販売促進のアドバイス <成約>

■ 報道機関を対象とした合同メディア発表会の開催

- 単独企業では報道機関に取り上げられにくい、または取り上げられたとしても露出が少ないケースがある
- イノベ機構が報道機関各社に声掛けをし、3～4社程度の企業が合同で発表する機会を年3回設定
- 昨年度は首都圏でも開催し、今年度も計画中



首都圏合同メディア発表会場の様子（2026.3.6）



福島県内圏合同メディア発表会場の様子（2025.7.1）

事業者様が抱える事業化/事業拡大に向けた課題に対する一括支援策として、各種テーマ設定に基づくセミナー・ワークショップの開催を7月から10月にかけて計画しております

セミナー開催スケジュール(全体)

セミナーテーマ	実施形式	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仮説検証ワークショップ													
仮説検証ワークショップ	オンライン				7/29 開催								
販促・マーケティングセミナー													
マーケティング基礎セミナー	オンライン				7/29 開催								
展示会活用/有償実証活用セミナー	オンライン					開催 予定							
マーケティング/営業セミナー	オンライン						開催 予定						
課題/分野別ミニセミナー													
人材セミナー	オンライン							開催 予定					
資金調達セミナー	オンライン						開催 予定						

現在、仮説検証ワークショップ/マーケティング基礎セミナーの申し込みを受付中です
ご希望の方は、下記QRコード(URL)からのご応募をお願いします

・ 仮説ワークショップ/マーケティング基礎セミナー申込

名称	仮説検証ワークショップ/マーケティング基礎セミナー
開催日	➢ 第一部 仮説検証ワークショップ : 7月29日(水)09:30-11:30 ➢ 第二部 マーケティング基礎セミナー: 7月29日(水)11:30-12:00
概要	➢ 第一部 仮説検証ワークショップ概要 実用化後の事業成功に向けて、ターゲット顧客やその顧客が抱える課題、開発している製品・サービスの検証ポイントについて、リーンスタートアップの考え方に基づいた仮説検証ワークショップを開催します 製品・サービスの価値仮説の検証方法等の知見提供を通じて、実用化テーマで検討しているビジネスモデルの課題/検証ポイントを整理し、事業化確度を高めていただくことを目的としています ➢ 第二部 マーケティング基礎セミナー概要 実用化後の事業成功に向けての仮説検証を進めるにあたって、これから「顧客」「チャネル」の検証を考える事業者、アクションに至っていない事業者や躓いている事業者等を対象に、躓きポイントと対応策の解説します
開催方法	➢ オンライン(Teams)
申込フォーム	➢ https://forms.office.com/e/L5wc6UuFCQ 【申し込みフォーム】仮説検証ワークショ ップ/マーケティング基礎セミナー 

支援制度の詳細につきましては、**7月17日（金）に開催する「支援制度説明会」**においてご説明いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

今年度は、採択企業の皆様にもご参加いただきやすい、福島市での現地開催となります。

また、**資金調達関係、知的財産関係等の個別相談ブースを設置**します。お気軽にご参加ください！

●開催概要

・日時：**2026年7月17日(金) 13:30～15:40**

・場所：**自由民主党中町ビル（福島市）** ※**現地開催のみ**

・当日の内容：

①**各種支援メニューのご紹介**

②**他支援機関の事業紹介**

（県ハイテクプラザ、エネルギー・エージェンシーふくしま、ふくしま医療機器開支援センター、
ジェット口福島、福島産業振興センター）

③**個別相談ブース**（資金調達・融資・財務関係、知的財産関係）

●参加申し込み

別途、詳細のご案内をメールでお知らせいたします。

この後は、福島イノベ機構において実施している、
「教育・人材育成」、「交流人口拡大」、「情報発信」
の各事業のご紹介をいたします。

今後、これらの事業へのご協力をお願いする場合がありますので、
その際はよろしくお願いいたします。

また、最後に説明する移住支援事業については、
人材採用にも関連しますので、詳細を確認したい場合はご連絡ください。

- **工業高校生及び県内大学生等を対象**に地元企業・研究機関等と連携した取組を支援し、イノベ構想への関心を喚起する人材育成と**地元就職を促進する人材確保**を目指す。

【対 象 校】

県内工業高校5校、テクノアカデミー3校、福島工業高等専門学校、福島大学、会津大学、日本大学工学部

【対象企業】

イノベ構想地区の企業等、中通り地区の重点6分野関連企業

【2025年度の事業内容と実績】

内容		実施件数
人材育成 イノベ構想を担う人材を育成	出前授業（企業や大学教員等によるイノベ関連の授業）	30
	企業見学会（就職を目的としたイノベ関連企業の見学）	49
人材確保 イノベ構想に関連する地元企業への就職に結びつける	企業紹介セミナー（イノベ関連企業を参集した説明会）	7
	保護者向け企業紹介セミナー（地元企業の理解を深める説明会）	2
	教員向け企業見学会（地元企業への理解を深める見学）	1
	保護者向け企業見学会（地元企業への理解を深める見学）	1
実績総数（人材育成＋人材確保）		90件（延3,159名）

● **生徒の声（一部抜粋）**

- ・ロボットやドローンの開発、システムの設計などに興味をもった。
- ・実際に目で見て説明を受けたので分かりやすく実感を得た。
- ・就職に対して曖昧だったが今回見学して何となくイメージがわいた。
- ・学校では習わないようなことを教えていただいた。
- ・福島が取り組んでいる内容について学ぶことができた。

- 福島県の未来を牽引する若者たちに対して、福島イノベーション・コースト構想に関わる有識者を招聘する出前講座。
- **福島県内の小中学校、高校、大学や特別支援学校等を対象に実施。**
- 「イノベ構想の周知」に留まらず、先進的な技術等を「学ぶ機会」を提供する。
- 各校の探求学習の一助となる機会の提供。

【事例・感想等（2025年度）】

■ 小学校

12月13日 二本松市立氏塩沢小学校

対象：5・6年生

分野：航空宇宙



● 児童より

- ・宇宙エレベーターをテーマに、未来の宇宙開発について学んだ。
- ・講演や映像を通して最先端の技術に触れたほか、模型を使った体験学習により理解を深めた。
- ・興味関心を高めながら主体的に質問し、学ぶ意欲と未来への期待がふくらむ時間となった。

■ 中学校

6月18日 相馬市立中村第一中学校

対象：3年生

分野：ロボット・ドローン



● 生徒より

- ・「相馬の未来を考える」をテーマに、福島の技術や産業について学習した。
- ・講義に加え、ドローンの操作体験を通じて最先端技術への理解を深めた。
- ・ドローンがどのように進歩し社会に活用されているかを学ぶ中で、将来に対する関心を高め、地域の未来を主体的に考える契機となった。

■ 高等学校

9月4日 福島県立南会津高等学校

対象：3年生「地域資源活用」選択者

分野：農林水産分野



● 生徒より

- 地域に生息する野生動物と農作物への被害防止をテーマに、講義と現地での観察を実施。実際の足跡や防除設備を確認しながら理解を深め、グループワークでは解決策を主体的に考えるなど、実感を伴った講座となった。

- 福島イノベ構想の担い手として期待する大学生を対象に出前講義等を実施。

<イノベ地域への興味・関心を引き出す出前講義の実施>

大学生等を対象に、イノベ構想やその取組について、様々な大学等と連携し出前講義を実施。大学等の要望に応じた福島イノベ構想と関わりのある企業やまちづくりで活躍する方の話を通じて、イノベ地域について、もっと知りたい・行ってみたいという興味・関心を引き出します。

【2025年度 出前講義実績】

北海道大学、山形大学、大阪大学、長野県立大学、会津大学、明治大学 等 計24校で実施
出前講義等を通じて90%以上の学生が、イノベ地域を訪問したい等、イノベ地域へ高い関心を示している。



<継続的な情報発信>

2024年7月から公式LINEアカウント「ふくしまイノベゼミ」を開設し、出前講義等でイノベ地域へ興味・関心を抱いた学生を対象に、イノベ構想関連企業やイノベ地域に関するイベントなどの情報を週1回程度で発信。2026.3.31時点の登録者数は612名

■ 未来が見える！ みんなで知る・学ぶ福島イノベーション構想見える化セミナー

(会津若松市) 2025年10月 19日(日) 於：アピオスペース

・参加者数：27組73名（小学生と保護者）

・開催内容

第1部：見える化セミナー：イノベーション構想ってなあに？（MC ペんぎんナッツ）

第2部：イノベ★わくわく体験タイム

①プログラミング教室（CoderDojo Aizu）

②トイドローン操縦体験（株大和田測量設計）

③陸上養殖のエビすくい体験&セミナー（HANERU葛尾）

第3部：イノベクイズ&抽選会



(田村市) 2025年12月 20日(土) 於：田村市総合体育館

・参加者数：22組68名（小・中学生と保護者）

・開催内容

展示：マッスルスーツ（株イノフィス）/ 水素ロボット（県テクノアカデミー浜）

第1部：見える化セミナー：イノベーション構想ってなあに？（MC ペんぎんナッツ）

第2部：イノベ★わくわく体験タイム

①陸上養殖のエビすくい体験&セミナー（株HANERU葛尾）

②トイドローン操縦体験（株WorldLink & Company）

③3Dモデル！LiDAR（ライダー）計測体験（大成ロテック株）

④声で“こころ”と“ねむけ”を見える化！（リスク計測テクノロジーズ株）

第3部：イノベクイズ&抽選会



- 当機構ウェブメディア「**Hama Tech Channel (ハマテックチャンネル)**」にて、浜通り地域等を先導するリーダーたちに、構想に掛ける自身の思いや役割、福島発のイノベーションにどのように貢献していくのか等、ユーザー（ビジネスパーソン）の指針となる記事を掲載。



2025年度
掲載記事

カテゴリ	インタビュー対象者	プロフィール等
トピックス	機構コラム	3/23メディア発表会登壇企業4社（會澤高圧コンクリート、ハマ、OKUMA TECH）
トピックス	機構コラム	3/16イノベ構想シンポジウム（基調講演及び事例発表者）
ロボット・ドローン	大西威一郎 氏	クフウシヤ 代表取締役
環境・エネルギー	李顕一 氏	OKUMA TECH 代表取締役社長
ロボット・ドローン	須知高匡 氏	Zip Infrastructure 代表取締役CEO
農林水産業	芳賀沼伸 氏 石子達次郎 氏 渡邊洋一 氏	芳賀沼製作 取締役会長 日進産業 代表取締役 良品店 代表社員
医療	近藤崇弘 氏	ALAN 代表取締役
医療	岡崎貫治 氏 工藤ルカ 氏	リスク計測テクノロジーズ 代表取締役 SHIN4NY 代表取締役CEO
環境・エネルギー	馬場保徳 氏	環境微生物研究所／石川県立大学
環境・エネルギー	渡辺一弘 氏 山崎大志 氏	コアシステムジャパン



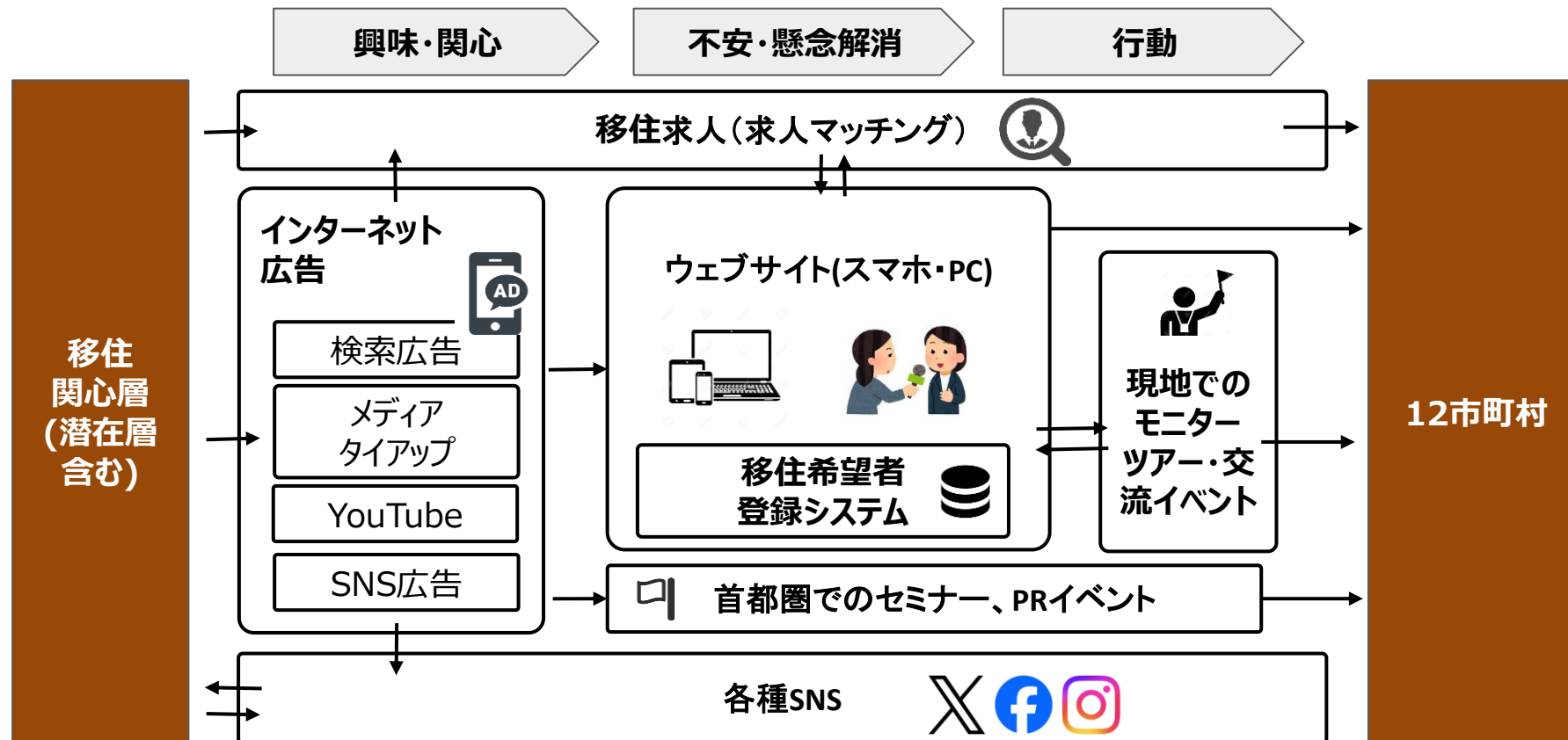
李顕一氏（OKUMA TECH）
インタビュー（2026.2.4記事掲載）



芳賀沼製作×日進産業×良品店
インタビュー（2025.12.26記事掲載）

- 12市町村への移住推進に向け、ウェブサイトでの求人マッチングを実施
- 首都圏セミナーや現地モニターツアーなども開催
- 具体的な移住イメージを高め、現地にある企業の様々な求人情報を提供することで、移住につながるアクションへと繋げる。

未来
ワーク
ふくしま



※12市町村：イノベ地域15市町村のうち、相馬市、いわき市、新地町を除く

※12市町村と連携・協働した各取組の実行においては、市町村支援課がコーディネート。

未来
ワーク
ふくしま

ウェブサイト 訪問者数	メルマガ 登録者数	求人案件 発掘社数	移住求人 エントリー数
累計 513.1 万人	累計 5,652 人	累計 409 社	累計 8,675 名
モニターツアー申込数	移住セミナー 参加者数	12市町村への移住者数 (福島県が毎年6月頃に公表)	
累計 3,946 名	累計 1,638 名	2024年度	578世帯 822人
		2023年度	637世帯 839人
		2022年度	425世帯 603人 (2人) ※
		2021年度	326世帯 436人
		2020年度	155世帯 213人

太文字数字はいずれも2021年7月のセンター設置から
2026年3月末までの累計実績値

※カッコ書きは県外からの二地域居住の内数

戦略的情報発信では、20～30代の首都圏居住者をメインターゲットに映像コンテンツを制作TVやYouTube等で配信、その視聴者等が実際に12市町村を訪問する現地体験型イベントを10月に南相馬市北泉海浜総合公園にて実施

TVイメージCM



ドキュメンタリー番組



・現地体験型イベント（10/25実施）

騎馬武者ロックフェス2025×ふくしま12移住フェス～移住はロックだ！～





<お問い合わせ先>

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構
産業集積部 産業連携支援課

〒960-8043 福島県福島市中町1-19 中町ビル6階

TEL : 024-581-6890 FAX : 024-581-6898

Mail : sangyo-renkei@fipo.or.jp

H P : <https://www.fipo.or.jp>